

『オーディオと私』

オーディオとの関わり

私とオーディオの関わりは、高校時代クラブ活動の放送部で文化祭にレコードコンサートを催した際、部員でアンプやスピーカーボックスの製作をしたことに遡ります。

当時流行り始めたセンターウーファーを用いた「3Dステレオ」システムでした。演奏した曲は、ベンチャーズ、パーシーフェイス等と記憶しています。

大学時代には自室用にアンプ（6BQ5シングル）、スピーカー（P610B）、ターンテーブル（マイクロ他）等を組み立て音楽を楽しんでいました。

その頃聴いていた音楽は、サークルでクラシックギターを弾いていたこともあり、バロックや古典派が中心で、あとは軽音楽、フォークソングといった音楽でした。

卒業年にはインターンシップで憧れのDAIICHI工場に三週間ほどの実習を受けオーディオエンジニアを目指していましたが、希望の会社に入社したものの重電の営業に配属となりこの道を諦めざるを得ませんでした。

社会人になってからは、寮生活の制約（六畳の二人部屋）や自作意欲の減退からメーカー品を購入し、偶に聴く程度のオーディオとの付き合いでした。

（アンプはLUXMAN、スピーカーはDIATONE、DS-36BRでした）。

所帯を持った後は子育てや転勤で、自室すら確保出来ない絵に描いた様なサラリーマン家庭で、十年ほど前に子供達が巣立ったのを機に漸く自室が確保出来、オーディオを再開し現在に至っています。

A AFCへの入会

退職を一年後に控え「産業廃棄物」にならない為には積極的に社会と交わるのだと思ひ、自宅（柏市）の近傍で趣味のオーディオで集えるグループをネット検索したところ、A AFCに辿り着いた次第です。例会記録も読ませて頂き「オーディオと音楽が混然と溶け合った」活動をされているとの印象で、まさに求めていたものに巡り合えたとの思いでした。

例会に出席してみますと、思い描いていた以上に充実したクラブ活動との印象でした。メンバーも多士済々で機器に精通した方から幅広いジャンルの音楽毎に造詣の深い方々のオリジナルティ溢れる発表を聞かせて頂くことが出来、毎回の例会が楽しみになっています。

現有システムと愛聴ジャンル

我がリスニングルームは、中古オーディオショップの如き年代物の機器で占められています。機器の平均年齢は三十歳を超えているかもしれません。

B級グルメならぬB級オーディオアンプを信条に装置を揃えています。

アンプは、全て真空管で、プリアンプがU122、CL35MKⅢの2台、メインアンプは、300Bシングル、6B4Gプッシュプル、7581Aプッシュプル、811Aシングルの4台を時々切り替えて楽しんでいきます。これらの機器はいずれもオークションで落札したものを修理したり改造したものばかりです。

スピーカーは、TANNOY Stereo ing TWにスパイツイーターSTI50を加えています。更にDIATONE P610DB（自作ボックス）を逆相で鳴らし音場の改善を図っています。これはネットで見つけた「ナチュラルサウンド再生法」というスピーカーの使い方です。興味のある方は試してみてください。

ターンテーブルは、例会に持ち込んだことのあるMICRO BL91+SMEM301ORとTHORENS TD1321MKⅡにMCを中心としたカートリッジを用

いています。部屋は一昨年に二人の子供部屋を一部屋に、また窓を2重窓にリフォームし何とかリスニングルームもどきの部屋を確保出来ましたが音響的には問題が多いと感じており、当面の課題は機器のグレードアップよりもルームチューニングと思い、本やネットで勉強を始めたところです。

音楽はLPレコードのクラシックとジャズを中心に聴いています。これからは有り余る時間を生かして色々なジャンルの音楽にもチャレンジする楽しみが加わりそうです。また、レコードの回転と真空管の光は心を和ませてくれますので、これからもアナログに拘り続けようと思っています。

オーディオアクセサリの製作とunicef支援

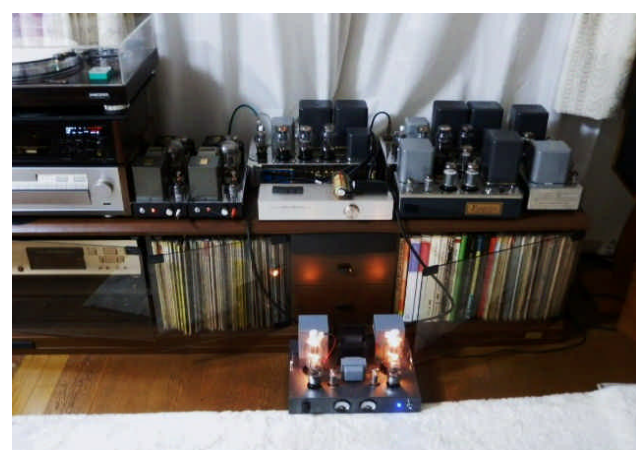
4年ほど前からドライカーボンを用いたオーディオアクセサリの製作を続けています。

きっかけは、この種の市販品が余りにも高額であった為、自作にチャレンジしたところ手前味噌ですが思いの外上手く行き、試しにネットオークションに出品してみたところ多くの方々の評価を頂くに至り、以降特注品の製作依頼を含めメニューも増え、趣味と実益を兼ねた楽しみが見つかったと思っています。

その還元と言えは大袈裟ですが、収益金の一部はunicef支援に使わせて頂いており、落札頂いた方には品物にその旨のメッセージを添えてお送りしています。

これからもオーディオと音楽を生活の一部として大切にして行こうと思っていますので、A AFCの皆様方におかれてはお付き合いの程宜しくお願い申し上げます。

林 英彦



写真二  
暖かく明かりを灯す真空管アンプ類



写真一  
愛用の機器類と共にリスニングルームにて